

高靱性ジェットモルタル (R)

D - J E T (R)

高靱性ジェットモルタル「D-JET」は、短繊維を多量に混入した高靱性繊維補強セメント複合材です。短繊維の架橋効果により、ひび割れを大幅に抑制するとともにひび割れ発生後においても応力の低下が無く、ひび割れ幅を約0.2mm以下に抑制させます。

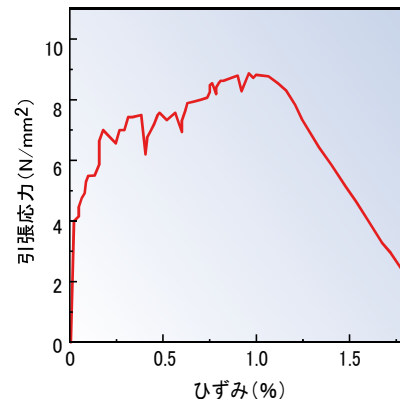
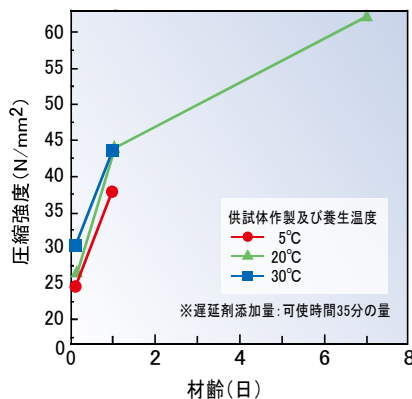


特長

- 1 材齢3時間で 24N/mm^2 以上の圧縮強度を発現します。
- 2 低温期でも短時間で圧縮強度を発現し、長期にわたって安定した強度増進を示します。
- 3 浮き水(ブリーディング)がほとんどなく打設後沈下がありません。
- 4 超高強度短繊維の多量混入により、ひび割れ抑制効果に優れています。

圧縮・引張強度特性

試験項目	弊社規格
圧縮強度(N/mm^2)	24以上 (3時間)
付着強度(N/mm^2)	1.5以上
引張強度(N/mm^2)	5以上
引張終局ひずみ(%)	0.5以上



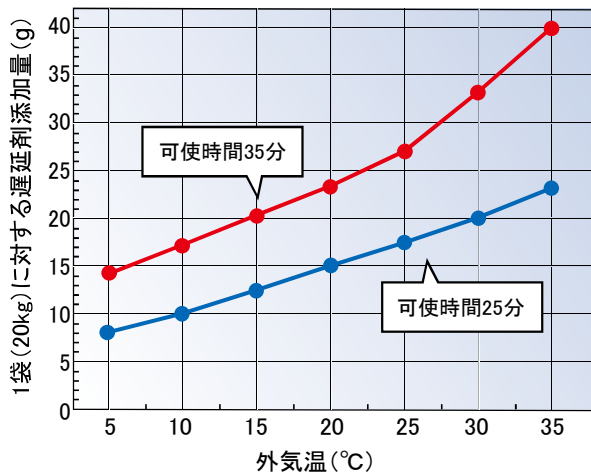
施工例



配合及び標準使用量ほか

	A材(粉体) D-Jet(R)	B材(短繊維) DOM-23J(R)	水	D-Jet 遅延剤	フロー値
1袋当り	20kg	0.18kg	3.8~4.2kg	適宜	170±30mm
1m ³ 当り	1800kg	16.2kg	342.0~378.0kg		

● 遅延剤添加量と可使用時間



● 練り混ぜ方法



- 1 ミキサーにA材(粉体)と水を投入、30秒程度攪拌。
【遅延剤投入方法】
方法①:遅延剤をあらかじめ練り混ぜ水に融解し、投入する。
方法②:A材(粉体)に遅延剤をかき混ぜ(10秒程度空練り)後、水を投入。
- 2 B材(短繊維)を投入、3分間攪拌。

- 注意1. 遅延剤添加量は可使用時間25~35分を目安に混入してください。
 注意2. 遅延剤添加量が可使用時間35分を超える量の場合、3時間24N/mm²の圧縮強度が確保できない可能性が高くなるので、ご注意ください。
 注意3. 遅延剤は別売りになります。
 注意4. 遅延剤は予め練り水に所定量加えて、溶かしてご使用ください。

使用および取扱い上の注意

- 本製品の保管は、セメントと同様にしてください。
- 使用量は、仕様の範囲で試験練りを行って決定してください。
- 本製品の練り混ぜには必ずミキサーを用い、練り混ぜ水は清水を使用してください。
- 取扱いに当たっては防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、速やかに水で洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。

【製造元】



株式会社ビルドランド

〒921-8064 石川県金沢市八日市3丁目514番地
TEL (076) 269-3414

【取扱店】

【発売元】



株式会社デーロス・ジャパン

本社 〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目70番地
TEL (076) 229-7260 FAX (076) 229-7261

仙台営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目39-3 シティハウス104
TEL (022) 346-7184 FAX (022) 346-7185

名古屋営業所 〒457-0055 愛知県名古屋市中区星宮町55番地
TEL (052) 485-5212 FAX (052) 485-5213

新潟営業所 〒950-0925 新潟県新潟市中央区弁天橋通1丁目8番23号
TEL (025) 287-7312 FAX (025) 287-7580

富山営業所 〒939-8213 富山県富山市黒瀬188
TEL (076) 423-1335

敦賀営業所 〒914-0028 福井県敦賀市中80-1-15
TEL (0770) 47-6370 FAX (0770) 47-6371

岡山営業所 〒701-1152 岡山県岡山市北区津高651-2 ヴァーナ津高202
TEL (086) 239-8502 FAX (086) 239-8133

福岡営業所 〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目6丁目3-4 第七池松サビル303
TEL (092) 408-7683 FAX (092) 408-7685